

「仏教タイムス」に

「仏光寺派大阪教区

大宗連を退会」という

記事が載った(5月31

日付)。仏光寺派とい

うのは、東西両本願寺

などの、いわゆる真宗

十派の一つで、親鸞を

開基、14世紀の了源を

中興とし、京都・仏光

寺を本山とする真宗仏

光寺派のことである。

その大阪教区(47カ

寺が所属する)が大宗

連と同一問題にとりく

む大阪宗教者連絡会議

からの退会を教区総会

(5月18日)で決定し

たのである。大宗連と

は、「解同」主導で組織

### 人権問題を自主性をもって

された「同宗連」同一

問題にとりくむ宗教

教団連帯会議」の地方

版である。1980年

代、宗教界に吹き荒れ

た「解同」による「糾

弾」の嵐は、一部を除

くほとんど全ての教団

を屈服させ、「解同」の

翼賛団体としての「同

宗連」を産み出した

(日隈威徳「戦後の仏

た。真宗仏光寺派大阪

教区は、その退会理由

に「部落問題は、基本

的には解決しているの

が実態」という認識と

「特定の運動団体の主

張に左右されず、自主

性をもって幅広く人権

問題に取り組んでいく

観点」をあげている。

報道記事の扱いは、

大きくはないが、その

意義と影響は、小さく

はないだろう。(許)